



その1

ウィークリーテスト

104時間の試験演習で圧倒的な実力を!

年間26回(前期13週+後期13週のテスト・1教科1時間×4教科)で、合計104時間の試験演習を実施。

定期的に行うテストが、知識の定着と試験慣れを強力にサポートします。

これが、揺るぎない学力を築くための“勝つための訓練”です!



前期に行われるこのテストは、過去一週間の学習を振り返り、どの分野で知識が不足しているのかをしっかりと見極めるための貴重な機会です。
定期的に戻ることが、次のステップに向けてしっかりと準備を整えることに繋がります。自分のための学びを深めていく過程は、まるでパズルのピースを集めるように楽しいものです。少しずつ全体像が見えてきて、自信がついていきます。

前期
点数の悪い教科こそ、
復習をして武器にする



後期のウィークリーテストでは、各大学の過去問に挑戦することを通じて、実際の出題傾向を知ることができます。この経験は、志望校選びにおいて非常に重要です。
過去問を解くことで、出題される内容や形式に触れ、どのような知識が求められるのかを実践的に学ぶことができます。入試に向けた対策を立てるだけでなく、自分に合った大学を見つけ出すための有益な手がかりともなります。

後期
過去問演習と
出題傾向の把握

毎週のテストは、単なる知識の習得に留まらず、自身身の目指す道を見つめるための大切な一歩となります。

毎週土曜日に実施されるウィークリーテストは、東京メディカル学院の学びの中でとても重要な役割を果たしています。このテストは、単なる学力を測るためのものではありません。どの分野で理解不足なのか、どんな知識が足りないのかを見つけ出し、成長のヒントを得ることができます。「ミス」は悪ではありません。本当の悪となる「手抜き」は、このウィークリーテストで決してさせません。

**毎週の積み重ねが
夢への道を切り拓く**

ウィークリーテストを“当たり前”に“積み重ねること”。この経験を通じて得られる自信は、学びの楽しさだけでなく、自己成長をも感じる瞬間となるでしょう。毎週のテストを通じて自分の変化する強みや弱みを理解することで、合格への道筋がしっかりと見えてきます。

「やればできる!」そう自分を褒めてあげてください。この“習慣”を、合格通知を手にするその“瞬間”に変えていきましょう。

